

大人4人。子供2人（4、5歳）のパーティー。甲武信ヶ岳に容易に登れる登山道が開かれたという噂を信じ登山。道はなく藪のため引き返したが、帰り道で遭難した。

ルートは推測

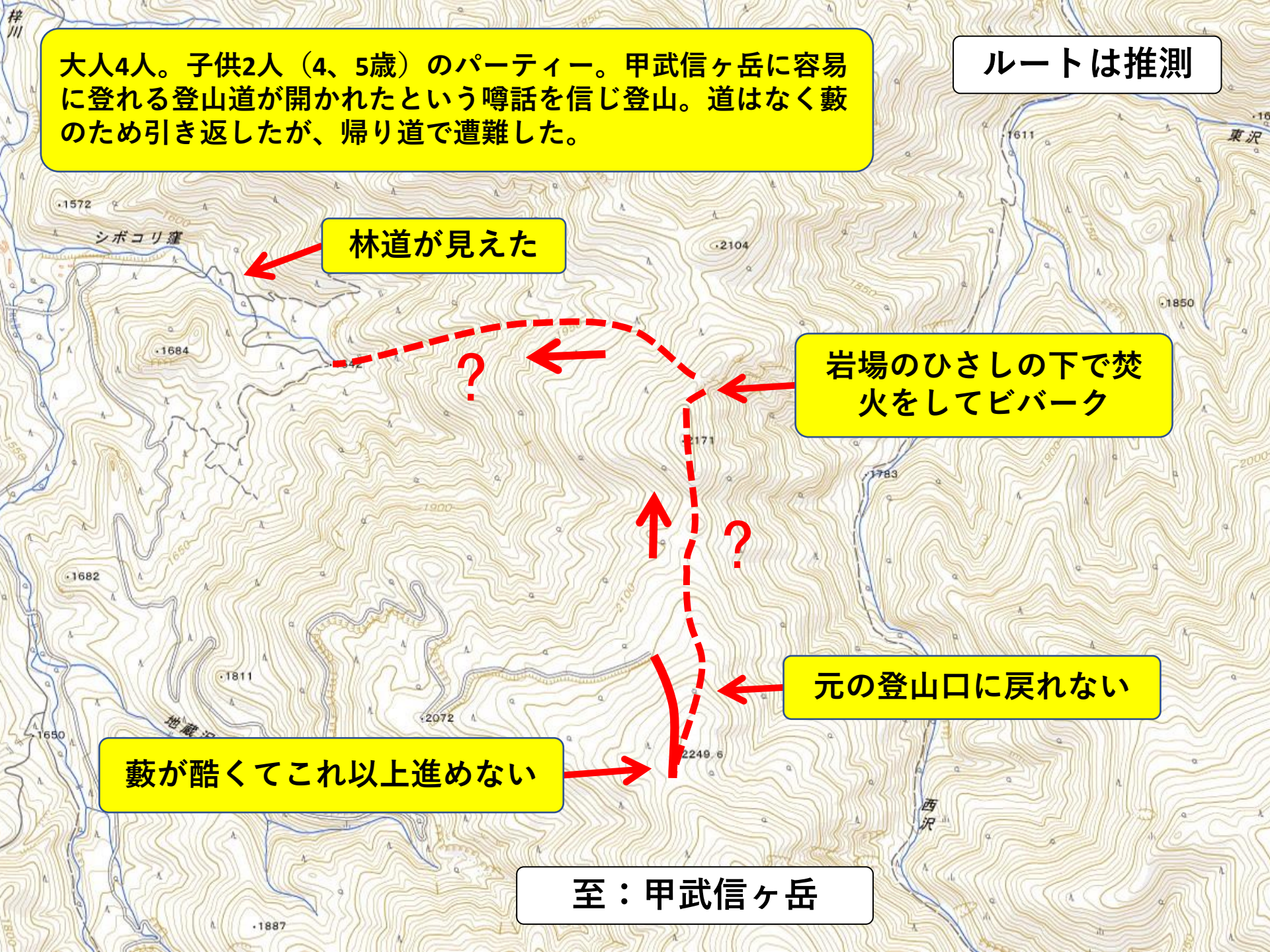
林道が見えた

岩場のひさしの下で焚火をしてビバーク

元の登山口に戻れない

藪が酷くてこれ以上進めない

至：甲武信ヶ岳





噂話を信じて登山開始。登山道らしくなかったが、登山道があるはずと思っていたので、そのまま登り続けた。しかし、1Kmも行かないうちにあまりにも藪がひどくなってきたので、登りで付けたナタ目を頼りに戻ることにした。

その後、別のナタ目に誘導されて、尾根を北の方に下ってしまい道迷いに。尾根上の岩場に出た時、その日は下れないと分かり、雨が降ってきたので、岩のひさしの下で焚火をしながらビバークをした。

翌日、天気が良くなり、五郎山が正面に現われたので、遠くに見えた林道を目指し、比較的緩そうな沢筋を選んで下り、事なきを得た。

（本文参照）

噂話の登山道を確認することは、誰しもやりたいことだが、小さな子供と一緒にというのは疑問が残る。ナタ目をつけて慎重に進んでいるが、ナタ目よりも、赤テープの方が効果的だと思われる。今では、スマホの地図アプリで難なく脱出できるのかもしれないが、噂話を100%信じてはいけないという教訓になった。